



議会だより な お し ま

2020 No. 191
令和2年4月10日

発行 ● 香川県直島町議会
編集 ● 広報編集特別委員会
電話 ● (087)892-2297
印刷 ● 山陽印刷(株)



思い出に残る小学校卒業式

キッズポート設立(予算大綱)..... 3P
コロナの影響は(教育長報告)..... 7P
宅地分譲をカラーズで(委員会リポート)..... 8P
笑顔がささえです(がんばりよるで).....12P



小林町長

これからも
町民の声を

ポータル 設立

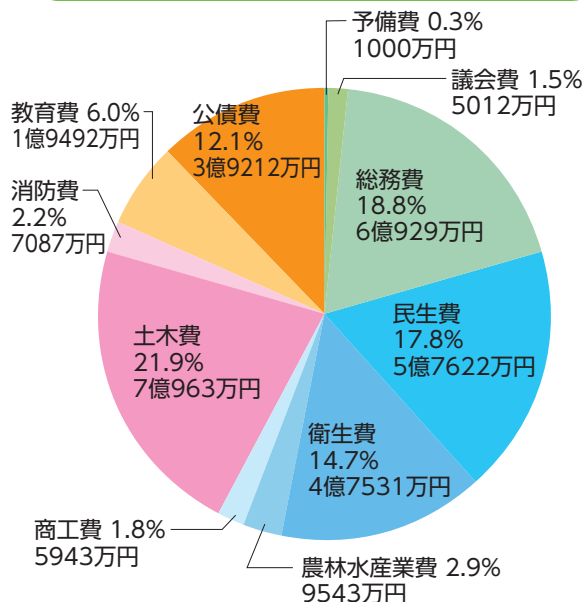
3月定例会を5日から開催。

令和2年度予算など議案38件を慎重に審議し、原案どおり可決しました。

一般質問には5人が登壇し、町政を問いました。

予算大綱・各予算案に対し活発な質疑を行い、11日に閉会しました。

一般会計歳出(支出)構成表



※数字は四捨五入していますので、合計が一致しないことがあります。

令和2年度予算総括表

会計	予算規模(万円)	対前年度比(%)
一般会計	32億4340	▲20.8
特別会計	国民健康保険事業	4億5855 ▲1.1
	介護保険事業	4億714 2.5
	診療所事業	2億9515 8.6
	後期高齢者医療事業	6457 16.0
	下水道事業	1億9950 ▲9.9
	宅地造成事業	2701 ▲25.0
	小計	14億5195 0.4
簡易水道事業会計	7億2580 14.1	
合計	54億2116 ▲12.2	

簡易水道予定量 給水戸数 1,789戸
一日平均給水量 4,700m³



焼却施設管理業務

衛生費



バス運行業務

総務費



有害鳥獣捕獲業務

農林水産業費



キッズポータル運営業務

民生費

こんな事業に
使います

子育て支援に キッズ

令和2年度一般会計予算
32億4340万円

予算大綱

主な質疑

他にない特色と
魅力あるまちとは

Q (西岡) 移住・定住、人口増加対策、子育て世帯施策が重点課題とあるが、まちの将来像は。

A (町長) 住んでいける人が幸せであれば、移住・定住された人も幸せになれると思う。そのためにも人口増加対策に力を注ぎ、特色と魅力あるまちを目指す。

Q (山下) 福祉センターなごみの売り場が目立つ看板を

A (町長) 新たな子育て支援策としてのキッズポイント設立に向けて関係者と調整してきた。これからも外に出て町民の声に耳を傾ける。

上げアップのため、看板を道路から目に付く場所に変更したらどうか。

A (町長) 指摘のとおり検討する。

町発展のために

Q (浜口) 町が発展するため

A (町長) 新たな子育て支援策としてのキッズポイント設立に向けて関係者と調整してきた。これからも外に出て町民の声に耳を傾ける。



縮小して営業

つり公園の運営は

Q (山上) 新年度からのつり公園の運営と今後の方針は。

A (建設経済課長) 当面、週末3日昼間のみとし、釣場は壊れた箇所への立ち入りは禁止とし、現状使用できる浜辺と小割周辺のみを営業とする。

なお、今後については利用状況等を見たいうえで検討する。

(次ページへ)



救急患者搬送業務

消防費



直島の火まつり

商工費



小学校校舎各所改修

教育費



海の駅大規模改修

土木費

定住促進住宅の内容は

一般会計

新規の対策は

Q (山上) 新たなイノシシ駆除の強化

策は。

A (建設経済課長) 現在、地元の猟友会にお願いし駆除等を実施しているが、新年度からは、これに加え民間業者への委託を行い、対策を強化する。

後継者対策は

Q (浜口) 女文楽の後継者対策は長年

強化する。

の懸案事項だが、何か新しい考えは。

A (教育長) 歴史と伝統を受け継いでいくために、いろいろと知恵を絞っていきたい。

健康づくりとは

Q (小野) 新たな健康づくり推進業務とは。

A (住民福祉課長) 成人の運動習慣を日常に取り入れ、医療費の削減を目指すため、スポーツ振興等の連携協定

必要となり繰入金の削減

を結んでいる(株)ミズノによるスポーツ教室を実施し健康づくりを進めていく。

経営改善策は

Q (宮原) 可能な限り経費削減に努めるが具体的な対策は。

A (町長) 3100人の人口の中で24時間365日体制の医療体制を維持していくには、それなりの人件費が必要となり繰入金

は苦しいところではあるが、知恵を絞って考えていきたい。

新たな施策は

Q (松島) 新しい直島を創るといふこと

で就任したが、前町長の施策とほとんど変わっていないとの町民の声を聞く。

残りの任期で何か新たな考えはあるのか。

A (町長) 変わり映えしないというのは失礼な話ではないか。

今までも一生懸命やってきました、変えようと努力している。当然これからも今のスタンスは変えるつもりはない。



経営改善を

主な質疑

交際費は毎年減額か

Q (小野) 町長交際費が今年度20万円減額しているが、毎年減額するの。

A (町長) 実績で新年度は下げた。当分の間はそのまま。

ふるさと納税の内容は

Q (宮原) ふるさと納税は寄附が9千

万円。経費は、返礼品が3600万円、さとふるの代行料が1200万円

などで計5千万円、差引き4千万円がプラスとなる(正味収入は、さらに

税額控除で差引いたもの)が、それでいいの。

A (まちづくり観光課長) 基金に積立てをするので正確ではないが、単純に出入りだけなら、そのとおりだ。

助成は何か

Q (山上) 観光協会の助成で600万円計上しているが、その

内容は。観光協会は黒字ではないのか。

A (町長) 新年度に観光協会強化のために専務理事を置く人件費の補填だ。また毎年黒

字ではなく、瀬戸芸のある年は黒字だ。

新規の予算は

Q (宮原) なおしまキッズポートの予算とその経費の区分は。

A (住民福祉課長) 予算額は970万円、人件費が800万円、準備費用が170万円だ。

住宅設計の内容は

Q (浜口) 定住促進住宅整備設計の内容は。

A (建設経済課長) 3DK2棟を考えているが、需要をみて4戸建てのアパート形式への変更を議会と相談して進めたい。

一般会計

賛成（西岡）

新規事業のなおしまキッズポートは子育て世帯には良い事業だ。町の財政は厳しいが、移住・定住、人口減少や手厚い福祉事業、また、観光・商工業を重視し、将来を見据えた安定した行政改革を要望する。

賛成（浜口）

社会保障費の増加、さらに今後も公債費が高い水準で続く見込みなので、事務事業の経費削減、公共事業の計画の再検討等、一層の計画性と費用対効果を考慮して事業を実施することを要望する。

特別会計

（診療所事業）

賛成（浜口）

施設設備の老朽化に対する費用の増加も考えられるが、施設の有効利用など、創意工夫をこらし、少しでも健全経営に取り組みよう要望する。

（宅地造成事業）

賛成（小野）

将来的に人口減少の抑制、移住定住の促進につながるようPRし、完売時は、次の造成地を考えるよう要望する。

賛成（西岡）

繰入金を減らす創意工夫をし、町民に愛され信頼される診療所をめざし、医師、看護師の確保に尽力し、診療所の発展を要望する。

賛成（西岡）

町民の生活に欠かせない水は大切なもの。安定した水の供給の確保を要望する。

令和元年度 予算補正

一般会計

歳入歳出予算の総額に1億781万円を追加し、42億3452万円となりました。

◎歳入の主なもの

- 固定資産税 1900万円追加
- 地方交付税 7866万円追加
- 指定寄附金 1888万円追加
- 繰入金 3934万円減額
- 繰越金 6636万円追加

● 町債

2000万円減額

◎歳出の主なもの

- まちづくり基金 8890万円追加
- ふるさと応援基金 1837万円追加
- 財政調整基金 1億35万円追加
- 利子補給金 1033万円減額
- 県営事業負担金 1498万円減額

（主な質疑）

Q（山上） コロナウイルスの関係で、給食やふれんどルームの経費はどうなるのか。

A（教育次長） 給食は仕入れも歳入も減る。ふれんどルームについては、人件費や余分なお金が必要になるので予備費で補填する。

Q（浜口） 診療所会計で介護サービス収入などが減収になっている。利用がなかったのが原因と思うが、何か工夫が必要では。

A（事務長） 他施設への入所や転出などで利用が少なくなつた。社協やレファシードのケアマネージャーとも協議し、ショートステイを利用される方がいないか声掛けをしたい。病院というイメージもあるのか、どんなことができるか、今後の検討課題として。

監査報告

監査委員 大林 清
小野 孝一

楽観視できない財政状況だ

本年度の財政事情は、固定資産税が増収となっているが、社会保障関係費の自然増、公債費が高い水準で推移することや、診療所会計、下水道会計への繰出金が多額である。事務事業や経費の節減、公共事業の再検討など、費用対効果を重視した事業を実施するよう願う。

国保税の滞納も重要な課題だ

国保会計は、1人当たり、1日当たりの医療費が高い状況で推移している。今後も大変厳しい状況が続くことと予想される。医療費適正化対策については、特定健診・特定保健事業の充実など医療費抑制策の強化に努め、滞納整理も強化するなど一層の努力を望む。

継続的な健全経営を望む

診療所会計は、入院収入、介護サービス収入などが大幅な減少となっているが、外来収入は大幅な増加となっている。一般会計から多額の繰入れをいかに少なくするかが最大の課題だ。関係者一同の今まで以上の努力を望む。

維持管理経費・公債費が重い負担になっている

下水道会計は、ストックマネージメント計画策定や宮ノ浦水路改良工事などが施工されている。宮ノ浦雨水ポンプ場整備事業や公債費が重い負担となっているが、経費の適正な執行に努め、住民の十分な理解のもと、一層の努力を望む。



小林町長

担当課を交え
まじめに考えて
いきたい

出会い隊 追跡調査を

(主なもの)

- 12月7・8日 出会い隊イベント「島コン(クリスマスも婚活もどっちも楽しんじゃおう)」を開催しました。
- 12月8日 コメづくりプロジェクト「おもちつき」が開催され参加しました。
- 12月17日 まち・ひと・しごと創生推進会議が開催されました。
- 1月4日 成人式が行われました。
- 1月12日 消防団出初式が行われました。
- 2月8日 平井衆議院議員の国政報告会が商工会館で開催されました。
- 2月12日 県の大山政策部長が意見交換会のため来庁されました。
- 2月21日 福武財団の金代氏が来庁され、新型コロナウイルス対策のため3月3～16日まで美術館などを休館するとの報告を受けました。
- 2月25日 玉野市民病院の森国室長が表敬訪問のため来庁されました。
- 2月27日 岡山赤十字病院と、今後の直島の医療体制について意見交換のため、同病院を訪問しました。

主な質疑

ぜひ追跡調査を

Q (浜口) 出会い隊でカップルも誕生しているが、単なるイベントで終わってはいけない。ぜひ追跡調査をしてほしい。

A (町長) プライバシーもあり調査はできていないが、担当課を交え、まじめに考えていきたい。

成人式は何歳で

Q (浜口) 令和4年4月1日から成人の年齢が18歳になるが、町の方針は。

A (町長) 今までどおり20歳で実施したい。

要望への回答は

Q (宮原) 県の政策部長から町の要望への回答の主なものは。

A (町長) 直島では豊島問題が終了したが、変化はあったか。



今までどおり20歳で

A (町長) 直島港岸壁改修には過疎債を使う。ふれあい診療所を医師2人は確保するなど、特に変化は感じしていない。

出初式に知事が来た

Q (西岡) 出初式に初めて浜田知事が来たが、何か意図があったのか。

A (町長) 特にはない。県下の出初式に順番で行っていると聞く。

協力内容とは

Q (山下) 岡山赤十字病院と直島の意見交換で出た月1回程度の協力とは。

A (町長) 月1回の夜勤のことを考える。

ているようだ。診療所の医師と協議するので、時期は未定だ。

玉野市の病院の合併は

Q (松島) 三井病院と市民病院の合併の話が進んでいるようだ。市民病院の室長から関連の話はあったか。

A (町長) 合併の話は皆さんご存知のとおりだ。場所が決まったぐらいで細部はまだ聞いていない。



出初式で知事があいさつ

コロナの影響は



嶋井教育長

国と県の方針に従う

(主なもの)

- 12月4日 人権・同和教育講演会が開催されました。
- 12月15日 きらめき音楽会2019が開催されました。
- 12月18日 スポーツ推進委員定例会が開催されました。
- 1月4日 成人式が開催されました。
- 2月1日 青少年ふれあいのつどいが開催されました。
- 2月18日 国際交流推進協議会が開催されました。
- 2月25日 男女共同参画講演会が開催されました。
- 2月26日 ひなまつりお茶会が幼児学園で開催されました。

主な質疑

どうなる聖火リレー

Q (西岡) 実行委員会から内容変更の通達等があったか。

A (教育長) 正式な指示はきていない。あれば検討する。

町のハラスメントは

Q (小野) 町で事例はあったのか。また防止策は。

A (教育長) 今まではない。防止策はない。

新年度の計画は

Q (松島) 国際交流推進協議会の計画内容は。

A (教育長) EGGのガイド活動や、海外研修等だ。

参加人数枠は

Q (小野) 海外研修参加人数を増やせないか。

A (教育長) 財政上、4人が上限だ。

内規があり、幼小中連絡会でも指導していきたい。



いざ、海外研修へ

参加人数は

Q (山上) 男女共同参画講演会の参加人数は。

A (教育長) 84人だ。

子どもに与える影響は

Q (西岡) ゲーム・ネットのしすぎは視力低下や姿勢を悪くするのではないか。

A (教育長) 毎日続いていると健康面や精神的にも良くないと指摘されている。最終的に我慢することが大事だと思う。

男女共同参画講演会

コロナの影響は

休業の決定は

Q (宮原) 臨時休業は教育委員会が決定するのか。

A (教育長) 国と県の方針に従い決定する。

食材の用途は

Q (浜口) 給食材料の食品ロスの現状は。

A (教育次長) 使用できるものは使い、それ以外は処分する。

減少対策は

Q (小野) 授業日数の減少の対策は。

A (教育長) 教科書の未履修分等は新年度の担任が指導し、学習する。

委員会レポート

2月12・13日の両日、合同常任委員会を開催し、各課からの現状・事業等の報告を受け、議論を交わしました。主なもののみ報告します。

経済・民生

総務・文教

宅地分譲を直島カラーズで



小野 委員長

- 〔ふれあい診療所〕
 (令和元年4月から令和2年1月)
 ○外来患者 1万3907人
 ○一般入院 922人
 ○短期入所 119人
 ○泌尿器科 244人
 ○時間外救急患者 513人

〔建設経済課〕
来年度も継続
 泌尿器科の先生には引き続き来てもらう予定など報告があった。
カラーズでPRしては
 積浦の分譲地を引き続き分譲に努めるなどの報告があった。
 (委員から)
 分譲の情報をカラーズに載せたらと要望した。



積浦分譲地PRしては

- 〔住民福祉課〕
 ○12月3日 国民健康保険運営協議会
 ○1月8日 民生・児童委員協議会
 ○2月5日 地域包括支援センター及び地域密着型サービス運営協議会
 (社会福祉協議会事業)
 ○在宅療養者等慰問事業で歳末見舞金を配布
 ○子育て世代交流事業で保護者・子供あわせて102人が利用

〔スポーツレクリエーション施設でプール・トレーニングあわせて2427人が利用〕
名称を変えては
 民生・児童委員協議会で心配事相談は相談者が少ないので、名称を変えてはと意見が出たが、次回までの宿題としたなど、報告があった。

瀬戸芸反省点の改善を



山上 委員長

〔総務課〕
会計年度任用職員制度
 4月から臨時職員の給料等の制度が大幅に変更となり会計年度任用職員としての採用となる。
Q 会計年度任用職員も正職員が実施している人事評価の対象となるのか。

〔まちづくり観光課〕
瀬戸芸閉幕後意見交換会
Q 町民からの主な意見は。
A 本村港を經由して豊島と高松港を結ぶ高速艇で、多くの観光客が毎回積み残しとなり、その後のフォローもなく大変困っていた。
 また、災害時の外国人

昇給を行うこととなるので、人事評価を実施しなければならぬ。
 への情報提供に検討の余地があるのではないかなど意見があった。
Q 旧鷺ノ松世話所前
交差点
 (委員から)
 本村方面から通行する際、非常に見にくく危険だという意見が多く、カーブミラーの位置と停止線の変更を要望した。



危険な三叉路

〔教育委員会〕
幼児学園の職員体制
Q 保育料の無料化に伴う保育希望者の推移は。また、保育教諭の不足による新年度からの幼児学園の運営に影響はないのか。
A 希望者は増加している。また、運営自体の支障はないが、一時保育は現状では受け入れができないので、人材確保に向けて努力している。

町長・教育長に問う

5議員が登壇し、町政を問いました。
内容は質問者の責任において作成しています。

子どもたちの安心安全を 〔教育長〕大規模改修に含まれる予定だ



西岡 議員

武道館は築40数年経過し老朽化が進み、畳は経年劣化していると思われる。他県では子どもが柔道

の練習中に頭を強打して亡くなる等、古い畳が原因と思われる事例もあることから、畳の取り替えが必要と考える。

また、天井が剥離落下し危険との声もある他、1年中空きっぱなしの換気口から土ぼこりが入ったり、冬は寒いなどの苦

情もある。

子どもたちの未来のためにも、安心安全に使用できるように、早急に改修を考えるべきだ。

〔教育長〕近年クッション性に優れ、受け身等の衝撃を和らげるソフトタイプの畳が主流になってきているのは承知している。

武道館の畳は平成12年に全て取り替えており、予備も80枚以上もあるとする。

め、しばらくは既存の畳を使用する。

また、天井の断熱材の剥離落下だが、利用者の健康被害の懸念もある。

小中学校・体育施設等の大規模改修を段階的に進めていくために、個別施設の長寿命化計画を、令和2年度を目標に策定していく。

コロナ感染の対応は

〔町長〕生命、健康が第一



中根 議員

2月の町広報に新型コロナウイルスについて「疑わしいと思ったら東嶺保健所か、住民福祉課に電話し指示を」とあった。診療所での対応できるのかわからないことばかりなので、町民に説明すべき

では。

〔町長〕

感染症対策は、県が権限を保有しているため、保健所と協議しているが最終的な決定がされていない。町としても、町民の生命、健康を守ることが第一であり、新型コロナウイルス感染症対策会議を設置し、万一患者が発生すれば、すぐに対策本部に移行し、全力で対応

道路側溝に溝蓋を

皆さんも手洗い・うがい・咳エチケットを守って、罹患しないよう注意していただきたい。

県道の宮ノ浦池横から幼児学園までの山側の側溝には溝蓋がなく危険

だ。先日、子どもが運転する自転車が側溝に転落するのを目撃した。幸い無事だったが、事故になるかもわからない。溝蓋があれば防げと思う。

町内の同様の場所も含め検討してはどうか。

〔町長〕県にも確認したが、現場に応じた対応を検討すること。町道も含め、危険な状態の箇所を優先的に改良しよう検討していきたい。



このままでは危険



早く修理して

交通費に助成を

〔町長〕 良い方法を検討したい



小野 議員

町内に自閉症の子どもがいる家庭があると聞いた。

この病気は専門医によると、小さいうちからの治療で完治する可能性が高いようだ。重度の場合

合、治療費・交通費にある程度の助成があるようだが、中軽度にはないのが現状と聞いた。

町外の専門病院に車で行けば、フェリー代もかかるし、宇野や高松から交通機関を利用すれば、それなりの交通費が必要であり、家庭にとって相応の負担になっているようだ。子育て支援の観点

からも交通費に助成が必要と思うが。

〔町長〕 当町では重度心身障害者通

院費等助成制度があり、通院に要する交通費の一部を助成している。ただ、この対象者は身体障害の程度が1級または2級で、知的障害の場合は常時介護が必要である重度の判定を受けているとなっており、軽度の方については助成の対象になっていない。障害児通所支援は、児

童福祉法に基づく支援で、手帳の有無は問わず児童相談所等により療育の必要性が認められた児童も対象となる。事業所の利用料は、国等から9割が給付され、月の負担上限は年収890万円以下なら4600円以内となる。なお、令和元年10

月から、満3歳になって初めての4月1日から3年間は、無償化の対象となる。しかし、事業所は町内になく、町外に行くことが続くものと考えられる。今後の町の方針は、元金償還額以上の起債をせずに借金を増やさない。また、公共施設の改修・更新は、毎年工事の規模を考慮し2・3年に分割して実施していく。なお、令和2年度から行



フェリー代等にも助成を

フェリー代もかかる。宇野や高松での移動には、船の時間に間に合わない時は、タクシー等も利用すると聞いた。助成については、他の自治体の状況等を調査し、実施の有無を含めて、どんな方法が良いか検討したい。

はそうなるとは思わない。

〔A〕 いろいろな考えがあり否定はしない。

〔Q〕 次の予算編成時期までに5年先までの財政計画を策定し、議会、町民に示すべきではないか。

〔A〕 いろいろと課題があるため、できたらお示したいが、すぐにはとほかないのでご理解いただきたい。

財政改革の取り組みは

〔町長〕 先頭に立ってがんばる



山上 議員

令和2年度一般会計当初予算は、一般財源の伸びが期待できない状況のなか、財源不足をカバーするために、歳入の20%を占める約6億7千

万円の基金の繰り入れからなる予算編成となっている。

その基金については、ここ3年間で約10億円の減少となる予定であり数年のうち本町の基金残高は、底をつくことが予想される。

将来にわたって安定した行政サービスの提供を

〔A〕 27年の大規模事業の償還が令和6年度まで

続く。また、既存の公共施設の維持管理経費も多額の費用が必要であり、さらに社会保障費も増加傾向

な

中心に既存事業の費用対効果を検証し選択と集中を行う。町としても将来に渡って安定した行政サービスが供給できるよう私

〔Q〕 起債の償還額に

が先頭に立ってがんばる。起債の償還額については、有利な起債の借入れにより実施しているのが、償還が終了しても普通交付税が減額となり、財源不足の解消にはならないと思っ

〔A〕 大規模事業によ

〔Q〕 今の基金の状況から考えると、私

人口対策の意気込みは

〔町長〕真剣に取り組んでいく覚悟だ



宮原 議員

当町の人口減少数は、10数年前に比べ、ここ4年程鈍化している。人口減少対策は今が正念場と思う。町長の意気込みは、

A

人口問題で安心したことがなく、日々悩んでいる。人口減少対策は、今までもさまざまな事業をし、新年度から子育ての支援拠点整備などを展開する。住民の幸せを心に刻み、真剣に取り組んでいく覚悟だ。

カラース改善を

カラースの空き家・空地登録情報や求人情報

を見やすく改善すべきでは。さらにこれらの情報は移住者のためだけではなく、町民もより多く見ることができるよう改善したらどうか。また、空き家等の登録物件を増やすことも大事である。貸主が貸家を

貸すのを躊躇するのに一度貸すとなかなか戻らないので流通を止めている。

そこで借地借家法の中の「定期借家」という制度がある。この定期借家は賃貸期間が満了すれば、更新することなく終了するもので、この制度をうまく利用することで、貸主は貸す意欲が出る。そうすれば登録物件が増えると考えが。

A

今年度「空き家・空地対策マスタープラン」を作成した。これにより所有者に働きかけなど調査をして、登録物件を増やせばと考えている。

これらの登録情報は移住者のためだけではなく、町民の皆さんのためのもので改善を十分に検討する。



空き家・空地登録を

また、定期借家制度についても今後検討したい。

人事

委員のみなさん よろしくお願ひします

教育委員会委員の任命

教育委員会委員に中川智司氏を任命することに同意しました。

任期は令和2年4月1日から4年間

農業委員会委員の任命

農業委員会委員に次の6人を任命することに同意しました。

任期は令和2年7月20日から3年間

固定資産評価審査委員会委員の任命

固定資産評価審査委員会委員に山本貞二氏を任命することに同意しました。

任期は令和2年3月15日から3年間

- 面村 和雄
- 和島 輝男
- 津郷 正則
- 高田 洋一
- 大山 一郎
- 西岡 幸子

条例改正

直島町総合福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正

現在の女文楽展示室を令和2年度から、子育て支援拠点（キッズポート事業）として活用するため、一般開放する利用室の項目から外すもの。



ふれんどルームも、一部キッズポートへ

公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正

町と密接な関連の社会福祉協議会と観光協会に、人的援助の体制を形成し諸施策の推進を図るため、両団体を本条例に加えるもの。

たくさんの 笑顔がささえです



花岡さん 津郷さん 堀口さん 岡本さん

今回ご登場いただくのは「ナオシマルシェ」の皆さんです。

Q お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。早速ですが「ナオシマルシェ」を始め、どれくらいになりますか。

花 今年で6年目です。この春11回目を開催させていただきます。

Q 始めたキッカケは。

堀 趣味のハンドメイドを活かして、イベントをしたいと思ったことです。

岡 港の芝生広場で屋外イベントができたらいだろうと思った。

津 マルシェメンバーに誘ってもらいました。
Q 皆さん手作りの物を

売られています。が大変です。

堀 大変なことあります。が、作ることで気分転換にもなり、とても楽しいです。

岡 子どもが小さい頃は家事、育児と大変でしたが、作品をいろいろな人に見ていただけるのが楽しいです。

津 アイデアが浮かばなくて、手が動かないときもあります。

Q マルシェをやられて楽しかったことは。

堀 会場に来てくれた方が笑顔で楽しんでくれてるのを見てるととても嬉しく思います。

Q 今後こうなつてほしいの思いは。

堀 遊びに来ていただくのはもちろん、もっと多くの町民の方にも出店していただきたいと強く思っています。

岡 今後は、もっといろいろな企画を考え、たくさんの方と楽しむマルシェを作っていきたいです。

Q 最後に町民の皆さん



町外の方の作品も

にメッセージを。

堀 直島の皆さんいつもありがとうございます。

たくさんの方の笑顔がとても大きな支えになっています。直島を盛り上げる楽しいイベントになるようがんばります。

津 ハンドメイドが好きだけど、一歩を踏み出せない方も、ぜひぜひ一緒にしましょう。

皆さん、今日は本当にありがとうございました。これからも直島のイベントをどんどん盛り上げていってください。

皆さん、今日は本当にありがとうございました。これからも直島のイベントをどんどん盛り上げていってください。



ハンドメイドがいっぱい



最高の天気できわっています

編集後記

桜が咲き、昨年の町議会選挙を思い出し。さて、5年前の統計ですが、全国927ある町村議会で、60歳以上の議員の割合が75・3%を占めています。直島町議会においても同様です。

私は、若い人に議員になってもらい、議会に新しい風を吹き込み、時代の波に乗った考えを取り入れた住みやすい町づくりをしたい思いがあります。

3年後の町議会選挙に若い人に立候補していただき、町のために一緒に汗を流したいです。

(西岡 記)

広報編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 井下 良雄 |
| 委員長 | 山下 玲子 |
| 副委員長 | 小野 孝一 |
| 委員 | 山上 英一 |
| 〃 | 西岡裕喜広 |
| 〃 | 中根 清孝 |
| 〃 | 宮原 三郎 |
| 〃 | 浜口 敏夫 |